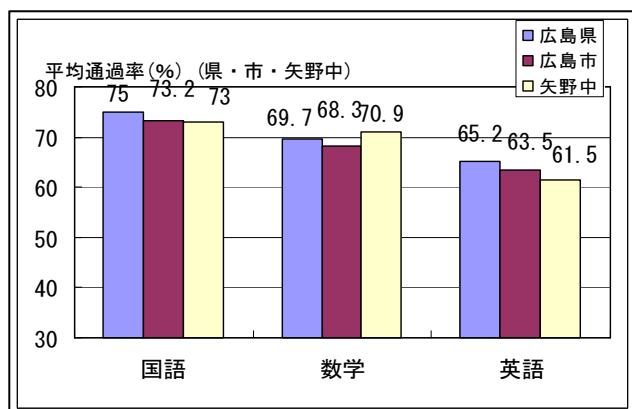


「基礎・基本」定着状況調査について

平成21年6月9日に広島県の小学校5年生、中学校2年生全員を対象に「基礎・基本」定着状況調査が行われました。その結果について本校の状況をお知らせします。

1. 各教科の平均通過率



国語科は、県平均より2点・市平均より0.2点下回っています。数学科は県平均より1.2点・市平均より2.6点上回っています。英語科は県平均より3.7点・市平均より2点下回っています。
(左のグラフの通り)

2. 各教科の課題と改善・取組

< 国語 >

「読むこと」の領域では、県平均、市平均を上回りましたが、「言語事項」「聞くこと」は下回り、「書くこと」は両平均の中間という結果となりました。「言語事項」では基本的な漢字の読み書きはほぼ習得していますが、文の成分など言葉の決まりに課題があります。日頃の授業の中でも、主語、述語、修飾語などの言葉を用い、文章の中で繰り返し復習をしていきます。「聞くこと」では、事実と意見の関係についての問いで不十分な解答が多くありました。「書くこと」では、意見を支える適切な理由を述べる力・記述する内容の整理が課題です。集中して授業を受け、メモをとるなどして話を聞く姿勢をつくること、目的を明確にして自分の言葉で書くことに取り組んでいきます。

< 数学 >

「数と式」の領域では、県平均・市平均を下回りましたが、「図形」「数量関係」の領域では、県平均・市平均を上回りました。まず「数と式」の領域では、ほぼ平均的な値でしたが、分数の除法や1次方程式が低い結果となっています。引き続き力をつけるために計算練習等や関係を文字式などで表現することに取り組んでいきます。「図形」の領域では、「平行・ねじれの位置」といった認識はとて高く、逆に「垂直な面」を求める問題が低い結果となりました。今後復習をしっかりとしていきます。

「数量関係」の領域では文章を読みとることや、表やグラフからの読みとる問題が高い結果となりました。さらに、数量関係を読み取る力をつけるため、日頃から問題文をじっくり読んだり考えたり、時間をかけて解いていく練習をしっかりとしていきます。

<英語>

「聞くこと」については、通過率は県平均・市平均を上回りましたが、「読むこと」「書くこと」「話すこと」については下回りました。特に「書くこと」「話すこと」については、課題を残しています。また、どの領域においても、設問によっては通過率の芳しくない傾向が見られます。毎日ノートの更なる定着と単語や連語・英文などを繰り返し読んだり書いたりする必要があります。授業では、単元ごとに単語・文章テストを実施し、英語を書く・表現する機会を増やし、内容の徹底を図ります。

3. 生活と学習に関する意

○**生活習慣**：毎日の朝食をとっているのは 93%、起床の時間が決まっているのも 93%を超えており定着していると思われます。ただし、就寝時間が定着しているのは 83%外に出て運動（部活動含む）するのは 73%でやや低い結果となりました。定着できていない生徒も 30%近くいるので、日々の規則正しい生活習慣が重要であることを伝えていきます。また、読書については、読書が好きですと答えた生徒が 65%いるのに対し、読んだ本について友達や家族と話していない生徒が 50%を超えています。朝読書などの取り組みを通して、まわりの人との交流も深めるように工夫していきます

○**自己実現力・自己効力感**：将来の夢や目標を持っている生徒は 70%を超えていますが、その夢や目標がかなうと思っている生徒は 60%を割っています。目標の実現のためには具体的に何をどうすべきか考える機会を多く持たせるようにしたいと思います。

努力すれば自分もたいていのことはできると思っている生徒が 76%、自分にはよいところがあると思っている生徒は 60%いました。しかし、自分のよさが周りから認められていると思っている生徒は 50%程度でやや低い結果でした。学級活動などで周りから認められるよう、努力した結果についても認め、評価していきたいと思います。

○**論理的思考力**：物事を解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えている生徒が 66%います。見たことや考えたことを順序よく伝えることができる生徒は 65%とほぼ同数となっています。これは県及び市の数値をやや越えています。順序良く相手に伝えることに関しては、生徒は苦手意識を持っているようです。授業や学級活動の時間に、自分の考えを順序良く相手に伝える機会をさらに増やしていきたいと思います。

○**コミュニケーション能力**：自分と違う意見も受け入れながら、自分の考えを話すことができる生徒は約 70%います。困ったときや腹が立ったとき、解決するために自分の気持ちをことばで伝えている生徒も約 70%います。これも県及び市の数値をやや越えています。周りの人の意見を受け入れながら、自分の考えを発表する場面を増やしたいと思います。

○**学習動機**：学校へ行くのが楽しい生徒は 90%います。将来のためや、もっと力や自信をつけたいから勉強したり、苦手な教科でもわかったり、できるようになったりしたいから勉強をしている生徒が 70%以上います。さらにわかる授業づくりに努め、意欲的な学習がなされるような環境をつくりたいと思います。

○**学習習慣**：学校で習ったことを普段の生活の中で思い起こしたり、利用したりすることができる生徒、分からないことをそのままにせず努力している生徒は 60%以上います。しかし、自分で計画を

立てて学習をしている生徒や宿題以外のことを進んで勉強している生徒は 50%未満でした。自ら課題を見つけて計画を立てて学習する姿勢を身につけさせたいと思います。

この調査で明らかになった各教科の課題を克服していき、全教科を通して生徒が落ち着いて前向きな姿勢で授業に取り組めるよう、授業づくりに力を入れていきたいと思います。また、生活と学習については、各家庭と協力しながら、さらに生活習慣や学習習慣の確立を目指していきたいと思っています。